

## 第2回情報学教育フォーラム (概要)

日 時 : 2015年10月18日(日) 13:00~17:00 (予定)

場 所 : 早稲田大学 西早稲田キャンパス (東京都新宿区大久保3-4-1)

55号館 S棟2階 第3会議室 (<http://www.sci.waseda.ac.jp/campus/>)

※ 第1回のフォーラム会場とは別の会議室となりますので、ご注意ください。

テーマ : 情報学教育における高大接続と連携

協 賛 : (一般社団法人) 情報システム学会 (予定) (<http://www.issj.net/>)

運 営 : 情報学教育研究会 (SIG\_ISE)

(プログラム) 今後, 変更になる可能性があります。

13:00~13:30 開会 (挨拶等) 松原伸一 (情報学教育フォーラム議長, 滋賀大学 教授)  
(来賓挨拶) ※関係学会, 行政等の関係者

13:40~14:10 講演1 (講 師) 河添 健 (慶應義塾大学 総合政策学部 学部長)  
<大学の視点から> 高大接続と入試 (仮)

14:10~14:40 講演2 (講 師) 鹿野利春 (文部科学省 教科調査官, 情報)  
<行政の視点から> 我が国における情報教育政策 (仮)

(休憩)

15:00~17:00 懇談会

本フォーラムは, 個人が自由に参加し, 情報学教育に関心を持つ者が一堂に会して講演をベースに情報学教育の充実に向けて懇談を行うものです。

第1回情報学教育フォーラムでは, 募集から2週間程度にて定員に達しました。皆様の関心の高さに敬服いたしますとともに, 改めてご理解とご協力を賜れば幸いです。このフォーラムでは, 右のような課題をとりあげました。詳細については, ニュースレター (創刊号) を参照下さい。

<http://www.mlab.sue.shiga-u.ac.jp/isef-nl/ISEF-Newsletter-1.pdf>

※ここで, 情報学教育とは, 自然科学系の内容だけではなく, 人文社会系の内容をも積極的に取り入れ, いわゆる“文理融合でバランスのよい情報学”の教育のことである。これは, 従来の情報教育の概念を発展させたもので, 親学問との関連を考慮して, 学習内容を明確化 (再構成) する点に特徴がある。

そこで, 第2回情報学教育フォーラムでは, 課題の(2)及び(7)を重点化して入試なども加えて, 「情報学教育における高大接続と連携」を重点項目とします。

また, 懇談会では, 講演の内容を踏まえ, 文理融合の情報学について, 基礎情報学, 社会情報学などの専門家とともに, 考察・討論を深めたいと思います。

### 第1回情報学教育フォーラムでの課題

- (1) 日本独自の先進的な K-12 カリキュラム
- (2) 高校の教科「情報」と大学教育 (特に, 教養教育) の整合性
- (3) 情報社会のモラルと安全
- (4) 初等教育段階におけるプログラミング教育
- (5) 新しい時代に対応した資質・能力
- (6) 学校教育における ICT 活用
- (7) 親学問としての「情報学」と学校教育
- (8) その他, 「文理融合の情報学」の教育に関する諸事項

### 第2回情報学教育フォーラムでの課題

- 重点項目
- (a) 情報学教育における高大接続と連携
  - (b) 文理融合の情報学
  - (c) 高校で教えるべき教科「情報」の内容
- その他の課題
- (d) 大学における情報学教育
  - (e) 情報社会のモラルと安全
  - (f) 日本独自の先進的な K-12 カリキュラム
  - (g) 親学問としての「情報学」と学校教育
  - (h) その他, 「文理融合の情報学」の教育に関する諸事項

### 【連絡先】

情報学教育フォーラム (ISEF)

([http://www.mlab.sue.shiga-u.ac.jp/sig\\_ise/isef2015/](http://www.mlab.sue.shiga-u.ac.jp/sig_ise/isef2015/))

運営 : 情報学教育研究会 (SIG\_ISE)

事務局 sigisecsec@gmail.com

〒520-0862 大津市平津 2-5-1

滋賀大学教育学部/滋賀大学大学院教育学研究科

松原研究室 MLab